

組合の情報を
いち早く配信!



検索(グーグル、ヤフー)
酒田建総ブログでHITします。

酒田建総

発行

酒田飽海建設総合組合

教宣部長 本間 裕

酒田市ゆたか三丁目7-12

TEL (0234) 35-2880

FAX (0234) 35-2881

http://www.akumi-kenso.com/

年頭の「挨拶」

理事長 関川 俊夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より酒田飽海建設総合組合の諸活動に組合員・ご家族の皆様には、ご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年は、「県下二斉組織拡大week」の取り組み、当組合独自の春期・秋期拡大月間、そして、初めての取り組みとして、支部長・分会長による全組合員家庭訪問活動を実施、当初年内組合員数千人割れも危惧されていましたが、阻止す

る事ができました。各支部長・分会長の皆様の奮起に感謝申し上げます。お疲れ様でした。また、建設国保を守るハガキ要請行動では、組合員・家族の皆様のご協力誠にありがとうございました。

ハガキ要請は、建設国保が私たち建設労働者の命と暮らしの支えであり、補助金が不可欠と切実な思いをハガキに込め厚労省・財務省の職員に直接届けることです。

当者に届いており国保課長さんから「全国から多くのハガキが届いた。建設国保は命と健康を守る大切な制度という思いの予算などで形にできるような頑張り」と伺っております。私たちができることは、健康診断・健康指導の受診率を上げる事が大切です。政府は、2026年から「子ども・子育て支援金」の賦課を実施するといっています。注視していかなければなりません。建設資材の高騰や働き方改革・担い手不足、私たち建設業界を取り巻く環境は、かつてないほど厳しい状況下にあります。

昭和39年に開催された東京オリンピック。公式計時に使用されたのはセイコーウォッチ。このクォーツ開発者のリーダーで、世界初のクォーツ腕時計の商品化に成功したのが酒田出身の中村恒也氏。後に彼はセイコーエプソンの社長となり、ふるさと酒田に東北エプソンを設立した。

中村さんの寄附金を基金として、子どもたちに、科学的原理を応用した「科学・工学系ものづくり」の楽しさを体験させ、科学的・技術的な資質育成をするという目的で、平成17年に始まったのが「中村ものづくり事業」。今年21年目を迎えたことを記念して開催されたのが、ものづくり祭りのです。

いなかになくず。大工さんの指導に、もう熟練になった気分。おまけに、袋に入れたヒノキのかんなくずを嗅いでうっとり。次は、鉋金で鉋植え受け皿づくり体験。少し力があるけど、なかなかの出来栄え。帰ったら、早速鉋に使用おうとはしゃぎまわります。

若年技能者 技能競技大会

五十嵐真海さん



優勝!!

計7名が参加しました。結果は左官職種で当校の五十嵐真海さんが優勝を勝ち取りました。

なんと、左官職種の優勝は平成19年に開催された「若年技能者技能競技大会」の前身となる「山形県認定職業能力開発施設訓練生技能競技大会」以来の18年ぶりの快挙となりました。



9月27日(土)河北訓練校を会場に令和7年度第13回若年技能者技能競技大会が開催されました。今年当校の他に河北、米沢、山形工科短大の4校より建築大工職種10名、建築板金職種12名、左官職種8名、建築塗装職種5名、計35名の選手がそれぞれの職種で日頃の技能の成果を競いました。

当校からは建築大工職種に2名、建築板金職種に3名、左官職種に2名、次年度は左官職種のみならず、建築大工、建築板金でも優勝を目指して頑張っているといひです。〈記 佐藤 仁志〉

公開授業

訓練校「初」の公開授業。来場者の授業への関心も高く。

11月8日(土)訓練校として初めての試みとなる公開授業を開催しました。

当日は午後1時半より開会セレモニーを行い、菅原校長のご挨拶と事務局から訓練校についての簡単な説明があり、その後は4時まで自由見学となりました。

当日の来場者は14名で、令和8年度に入校予定の事業所様や在校生の所属する事業所様からも見学にきており、来場者の授業への関心が高く感じられました。

開会セレモニーが終わると、会場となった講堂の隣が建築板金科の教室ということもあり、建築板金科から見学される方が多く、続いて左官・タイル施工科、木造建築科と見学していました。全体的に好意的な意見が多く、次年度は複数回実施していきたいと考えております。

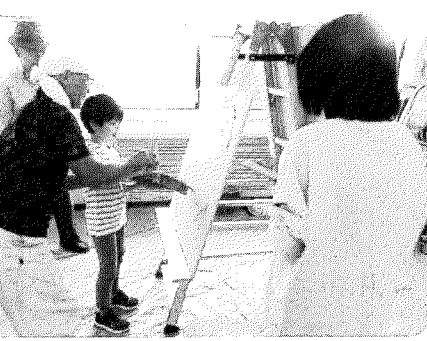
また、公開授業に関わらず、毎週土曜日に授業を行っておりますのでご興味のある方は是非お越しください。その際は事前にご連絡を頂きますと幸いです。

ものづくり祭りの開催は、10月4日(土)。場所は酒田市総合文化センター。当日は15の団体組織が参加し、約20の体験ブースを設けました。

わが酒田飽海建設総合組合は参加依頼を受け、建築、左官、鉋金の技能自慢約10名が参加し、かななか、珪藻土塗り壁、金属小物づくりの体験指導にあたりました。



中村ものづくり事業「中村ものづくり祭り」将来の職人誕生を願って



木工教室出店

●ゆぎ産業まつり
●庄内森とみどりの
フェスティバル2025

「ゆぎ産業まつり」が10月24日(日)、「庄内森とみどりのフェスティバル2025(はつぴー祭)」が11月3日(月・祝)に開催され、住宅部で児童向けの木工教室を出店した。

両日とも午前・午後合わせて20組が参加し、椅子20セットを制作した。

釘打ちが初めての低学年児童は、下穴を開けていても真っ



すぐ釘を打つことが難しく苦労しながらも最後まで諦めずに取り組んでいた。学校で釘打ちの経験がある児童はノコギリで板を切る作業に挑戦し、完成した椅子を誇らしげに保護者へ見せる姿が見られた。会場は終始にぎわい、親子で協力しながらものづくりを楽しんだ姿があちこちで見られた。住宅部員3名で20セットを準備するのは大変だったが、子供たちの笑顔に疲れも吹き飛んだという。

昨年は庄内地方を襲った大雨災害の影響で木工教室は全て中止となっており、今回は着任後初めての開催となった。住宅部では「今回の経験を

令和7年度 小学校木工教室

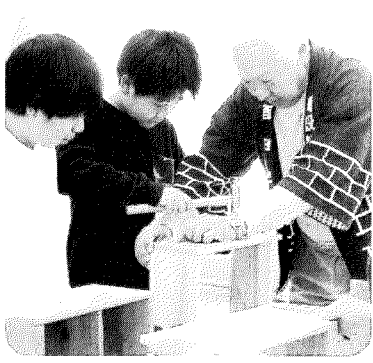
10月7日 酒田市立八幡小学校

10月7日(火)に市立八幡小で6年生29名を対象とした木工教室を実施しました。

当日は住宅部の3名にも応援してもらい計6名体制で安全面に配慮しながら作業を進めていきました。

制作作品は例年どおりのDVDラックで、普段木に触れることが少ないと思いこの機会に木のぬくもりを感じてもらうことを目的としました。

始めに各班に分かれて木材の性質や作業に使う道具(差し金・のこぎり・金づち・キリ・紙やすりなど)の安全な扱い方、作業の進め方は各指導員におまかせしました。道具な



どの説明をしている時の児童は真剣な表情で耳を傾けていました。またのこぎりの使用時の姿勢や力加減については、実演を見てもらい取りかかってもらいました。

まず木材に差し金で線引きを行い、その後各自でのこぎり

遊佐住宅デー

きっかけに、将来建築業に興味を持つくれる子供が一人でも生まれればうれしい」と話している。

地域イベントを通じて、建築の魅力や大工の楽しさを次世代へ伝える活動を今後も続けていく。〈記 富樫 良一〉



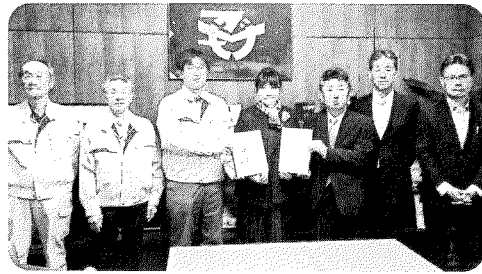
10月25日(土)第二支部が、稲川まちづくりフェスタでセンターの一角にテントを設置して頂き包丁研ぎのサービスを今年も行った。

第三支部は、11月1日(土)高瀬まちづくりに参加、第二支部は、翌日の2日(日)に生涯学習センターに参加、何処の支

たぶん初めてのこぎりを使う児童が多いと思います。刃が木材に引つかり、切断面が斜めになったりする場合が見られたが、指導員の助言や手をそえての感覚を覚えてもらい徐々にコツをつかんでいったようだ。

続いて行われた釘打ちの工程では、先にキリで下穴をあけ釘を打つ時に木材が割れるのを防ぐ作業をしました。キリを使ってもらいましたが、これがなかなか苦戦しているようで、コツとして回しながら下方に力を加えるのですが、それがなかなか出来ないようでした。苦戦しつつも組立ておりました。

令和7年度 要望書提出



部も人出が多く忙しい時間の中、全ての包丁を研ぎ終えた。本来であれば、住宅関係の相談会もしたかったのですが、包丁研ぎに時間を取られ中々出来ませんでした。しかしながら酒田飽海建設総合組合のP・Rは、しっかり出来たはずだ。

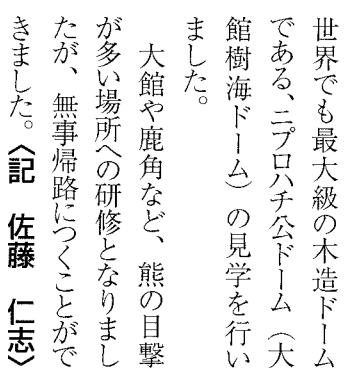
11月10日(月)に町長・議長へ遊佐商工会と一緒に、要望書を提出、次年度のリホーム支援や選挙掲示板設置等の取り組みに引き続きお願いして来ました。〈記 石垣 孝貴〉



11月14日(金)・15日(土)訓練校の課外研修がありました。今年度は秋田の大館、鹿角方面への研修となりました。1日目は小坂町の鉱山事務所



紙やすりをかけて、作業終了です。完成後は自分で作った作品は難しかったけど最後までできてうれしかった前向きな気持ちになったと思います。また児童は工具の扱い方だけでなくものづくりに必要な計画や集中力、試行錯誤して問題を解決する姿勢を身につけることができると思います。



安全面では、作業開始前および各工程の節目に指導員が注意喚起をしていたので結果、ケガや事故もなく活動を終えることができました。今後

受けながら建物内を見学しました。その後、鉱山事務所に隣接する康楽館を見学しました。康楽館は内部を見学できれば良かったのですが、当日はイベントで貸し切りであったため、外観のみとなりました。初日の見学は以上となり、湯瀬温泉での宿泊となりました。2日目最初は本館での曲げわっぱのパンづくり体験。1日目の見学の時も訓練生の皆さんは真剣に聞いておりましたが、やはり体験の方が本業とばかりに集中しており、予

税金学習会
2月3日(火)・4日(水)

今年は申告に加えて**節税**や**資産運用**についての講習です! お申込みは別紙にて。

《かわらばんクイズ解答》

それぞれ正解は以下の通り

1:○(仕事での熱中症は労災となります。)

2:×(秋も熱中症のリスクは高まります。)

※厳正なる抽選の上、当選者には12月中旬に記載頂きました住所への賞品の発送をさせていただきます。次回かわらばんでも多くのご応募お待ちしております。

お悔み申し上げます
(R7年5月~R7年12月)

支部	氏名	職種	死亡月	年齢
遊佐第一	阿曾 満	大工	R7年5月	70歳
建設第三	佐藤 敏夫	大工	R7年6月	91歳
平田	堀 広	電気工	R7年7月	75歳
荒瀬	遠田 慶治	大工	R7年7月	86歳
酒田	徳田 邦夫	塗装工	R7年8月	76歳
板金	齊藤 一三	板金工	R7年8月	79歳
平田	長谷部千博	塗装工	R7年9月	72歳
遊佐第三	高橋 恒平	配管工	R6年10月	42歳
遊佐第一	青葉 清	左官	R7年11月	89歳
八幡	土井 隆博	塗装工	R7年12月	55歳

令和8年度 訓練生募集中!!

令和8年度に向けて訓練生を募集しております。入校希望、情報提供は訓練校担当佐藤(33-3020)までご連絡ください。ご協力よろしくお願いいたします。

訓練科	訓練期間(受講日)	入校資格	授業料
木造建築科	2年間 毎週土曜日 (平日授業あり) 8:30~16:30	1. 中学校卒業以上で雇用保険の被保険者又は労災保険の特別加入者 2. 事業所に指導員有資格者	■木造建築科・建築板金科 授業料/12,000円/月 入校負担金/21,000円 ■左官・タイル施工科 授業料/13,000円/月 入校負担金/20,000円

次回号からは新しい教宣部員が新たな視線での発行に期待したいと思っています。

〈記 齋藤 勉〉